

議会だより

No. 132
2016.5.1発行

3月定例会報告

安心と魅力を実感できるまちづくりへ

大型予算可決 2

町政を問う・一般質問に12人が登壇 8

こんなことやっています ～一部事務組合～ ... 16

どうする!!! 鳩山町議会 (研修会報告) 17

安心と魅力を実感できるまちづくりへ 大型予算可決



一般会計予算 60億5400万円

(仮称) 地域包括ケアセンター (イメージ図)

第1回定例会

平成28年第1回定例会が、3月1日から14日までの14日間にわたり開催されました。

提出議案は、専決処分の承認に関するもの1件、条例の制定などに関するもの21件、平成27年度一般会計並びに特別会計等の補正予算に関するもの9件、平成28年度一般会計並びに特別会計等の予算に関するもの8件、町道路線の廃止・認定に関するもの2件、農業委員会委員など人事案件3件の44件でした。すべて可決、承認、同意されました。

議員発議で、国民健康保険国庫負担金等に関する意見書が提出され、全会一致で可決されました。

一般会計予算

歳入

町民税
問 前年比マイナス3000万円となっているが、給与所得者の人数など、どのような状況か。

答 これまで給与所得は減少傾向だったが、平成27年度は1万9千円増加した。給与所得者は減少している。

法人町民税

問 2190万円、150パーセントも増える理由は何か。

答 奥田地区に誘致した法人の業績が、見込んだ数値より大幅に高かった。また多くの法人の決算状況が良好で、特に建設関

歳出

町道1号線

問 用地測量業務委託料が3688万円だが、地元や地権者との協議や周知は、どうなっているか。

答 事業説明を昨年の7月に泉井地区の大字臨時集会にて行い、道路線形等は昨年8月に泉井地区活性化委員会にて説明し、了承を一応得た。

道路詳細設計が年度末には完成する予定。用地測量に着手する前に、地元の皆様は道路の詳細を提示し、境界立ち会いのお願いをする予定。

納涼夏祭り

問 350万円は今まで商工費として分割計上されてきたものか。

係が好調だった。

答 第1会場、第2会場、やぐらの設置費等も含めて計上したものである。

問 計画案が新たに作られているが、住民の意向をどのように聞いていくのか。

答 業者委託して様々な調査をし、公共交通網を再編する案ができた。

どうすれば町民の皆さんが、有効に使えるのかワークショップで聞きたい。それらの意見を踏まえて、再編実施計画をつくり、事業をすすめていく。

泉井交流体験エリア

問 具体的な内容の検討がすすんでいるのか。

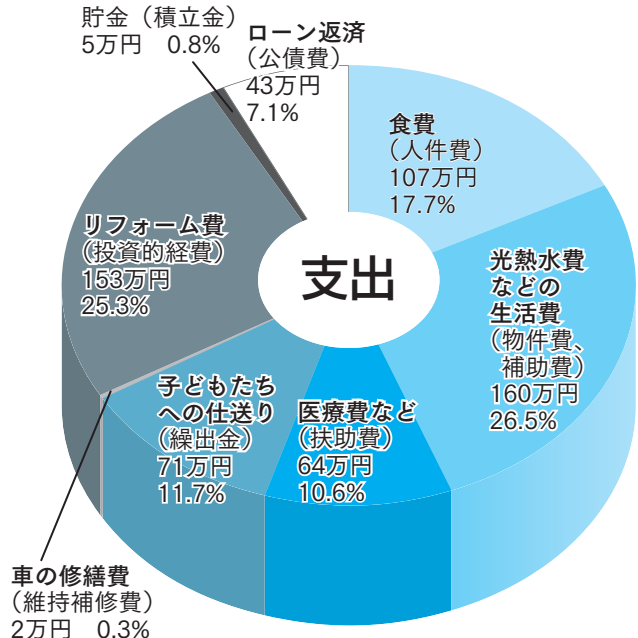
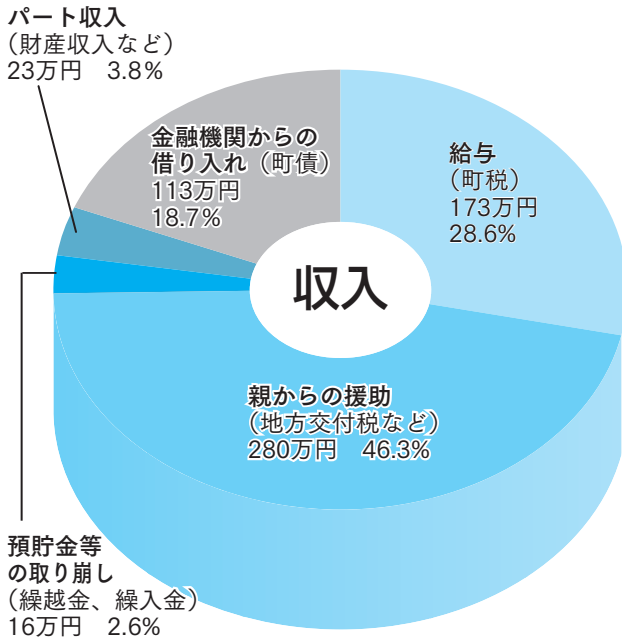
答 北部地域活性化の拠

平成28年度一般会計予算
60億5400万円



もしも町の年間収支が 605万円の家計だったら…

鳩山町の一般会計の全体額を、分かりやすくするため、
1/1000〔1千万円を1万円〕年間605万円の家計簿にしてみました。



<主な新事業>

- 福祉・健康複合施設新築工事 10億4000万円
工事期間 6月から平成29年3月
事業開始 29年5月予定
- 給食センター施設関連 (工事、監理、厨房機器購入) 2億7715万円
- ふるさと納税寄付金推進経費 3295万円
- 泉井交流体験エリア整備実施計画 1500万円
- 多世代活動交流センター改修工事設計 1300万円
- 町営バス運行経費 1000万円
平成29年1月から3月まで試験運行。
29年度から事業着手。
- 梅沢運動場トイレ新築工事 1405万円

点施設として整備する。
多目的ホール、体験農園、展示コーナーの整備などが検討されている。継続して活性化委員会や専門部会にて検討を進めている。

今後、北部地域の皆様に施設の目的や機能等を理解いただき、意見等を伺う機会を設け、詳細な内容を詰めていく。

多世代活動交流センター

問 改修工事設計業務委託料1300万円の具体的な内容は何か。

答 建物の耐震化、トイレ等の改修、エレベーターの設置、雨漏り箇所の改修、外壁塗装など。実施設計を行うので、さらに具体的に検討する。

問 資料費500万円です。3000冊、内容はどの

答 イノシシの檻、1基は何か。

福祉・健康複合施設

問 町の財政状況を度外視してすすめていないか。

答 町の現状・将来に向けて必要な施設であると多くの町民の皆さんも認識していただいている。採択されることが難しい国庫補助金も獲得できなかった。今、行わないと今後はできないと決断した。

農業推進

問 法人化推進事業とはどのようなことか。

答 3つある営農組合という組織を1つにする。

問 備品購入費10万円

答 基本的な町の収入である町税の額が減少傾向にある状況で、急激な借入金による箱物行政は、将来にわたり返済金やランニングコストの面で大きな負担を残すことになる。

<反対討論>

基本的な町の収入である町税の額が減少傾向にある状況で、急激な借入金による箱物行政は、将来にわたり返済金やランニングコストの面で大きな負担を残すことになる。

(森)

多世代交流センターを含む福祉・健康複合施設整備については、もう2、3年引き延ばしてつくるべきだ。
(根岸)

ように選んでいるのか。

答 概ね利用者のリクエスト。図書館流通センターの推薦なども参考にし、司書が決めていく。

給食センター改修工事

問 建設費等が非常に多額。国庫補助の要件は、どうなっているのか。

答 児童・生徒数により基準面積が決まる。また主要構造が鉄骨造りだが、これが非常に安く算定される。1億1271万円が交付の基準額になり、そのうちの3分の1が交付される。

鳩山町行政不服審査条例の制定

問 請求そのものが、行政によってシャットアウトされるようなことが起きるのではないかと。

答 従来の異議申し立てが保障された中で、新たな制度である審査請求へ切り替わった。公平な手続を保障する改正である。

問 審査会委員は町長が委嘱するという事だが、公正性が保たれるのか。

答 行政不服審査会は第三者の立場から審議委員が行った審議手続の適法性や審査長の判断について、審議する役割を担っている。審査会の委員は審査会の権限に属する事項に関し公正な判断をすることができ、かつ法律または行政に関して優れた識見を有する者のうちから町長が委嘱する。

〈反対討論〉

第三者機関としての中立、公正性を担保するた

めの具体的な手立ては示されていない。(根岸)

鳩山町総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定

問 今後サービス面が、どう変わっていくのか。

答 事業者との契約変更等は要するが、サービスを継続して利用できる。

問 法律では要支援1、2については保険から外すという方向ではないか。

答 要支援1、2に非該当となった方であっても基本本エックリストによって生活機能の低下が見られた方は、デイサービス等が利用できる。

問 保険料を使って横出し事業や上乘せ事業を追加するようだが、事務的にどういう流れになっているのか。

答 今までと同じで、国保連合会等を通じた診療報酬の請求になる。

問 社会福祉協議会あるいは介護事業所と、鳩山町として契約や約束をする必要があるのではないかと。

答 今回3月から町が改正した部分(昨年、4月改正になった介護保険法の内容)の情報しか今入っていない。新たな情報があれば、その中で協議していきたい。

〈反対討論〉

町は軽度者も、今までどおり介護保険を使って実施することになっていく。今後は国の意向がどのように示されるか、町がどう対応しなければならぬのか、利用者の負担がどうなるのか、不透明なままである。(根岸)

平成27年度一般会計補正予算

問 地方消費税交付金が2000万円の追加になった要因は。

答 慎重な積算を行った。また、地方消費税の総額自体が増えた。

問 プール・体育館解体工事で、減額の1759万

円。なぜいま補正なのか。
答 12月補正での減額補正はできなかった。

問 個人番号カード等交付事業交付金は、何に基づいて、どこへ交付するのか。

答 番号法総務省令第35条第1項に基づき、地方公共団体情報システム機構、通称J-LEISに交付するものです。

問 埋蔵文化財調査協力が100万円の減額になっているが、説明を。

答 開発等によって文化財調査が必要になるが、今年度は状況がなかった。

問 中学校のパソコン教室屋根根改修工事で252万円の減額。改修内容は。

答 劣化のため、雨漏りが発生し、天井部分、壁部分の剥がれ、床の腐食が進んできたため改修工事を行った。

問 給食センターで用地買収費17万円の減額。必要なところが全部、買収できたのか。

答 87平方メートルで、100%買収できた。

平成28年度鳩山町水道事業会計予算

問 旧高台寺浄水場の処分方針が作成されたが、状況は。

答 旧高台寺浄水場近隣の住民の方を対象に、処分方針の説明をさせていただいた。

住民の皆様のご意見を踏まえた上で、再度検討を行い、話し合い等を持たせていただき、水道施設財産の有効活用を図っていききたい。



高台寺水道施設跡地

農業委員会委員の任命

女性がゼロということ

とはどういうことか。
答 応募の段階で女性は一人もいなかった。区長自治会長説明会を行い、女性の積極的な推薦・公募についても説明させていただいた。

問 どのような女性団体にあったか。
答 応募状況を確認しながらで、特にはあたっていない。

〈反対討論〉

女性登用ゼロは、男女共同参画社会構築に逆行するものである。今後の農業委員会の姿を決めよう。なせなら地区割りを確立し、委員は地区内での持ち回りになると思う。そういう中で農業委員会への女性参加は難しいと考える。(小川)

農業委員は、農業者によって公職選挙法に基づいて選出されるべきだ。

(根岸)

追加議案

**平成27年度
一般会計補正予算**

地方創生加速化交付金事業8200万円を追加（交付金を受けるには平成27年度の予算措置が必須要件）

<主な事業>

- ・（仮称）鳩山町コミュニティマルシェ整備工事 2600万円
- ・生涯活躍のまち構想及び基本計画策定経費 1700万円
- ・多世代活躍事業経費 950万円
- ・空き家バンクシステム構築及び運用業務 800万円
- ・空き店舗購入費（旧西友リビング館など） 500万円

問 公有財産購入費空き店舗500万円、具体的にはどこを買うのか。
答 現在考えているのは、旧西友リビング館。面積は約840平方メートル。

問 コミュニティ・マルシェでは具体的に何をやるのか。
答 移住促進センター、移住者にも優しいコミュニティづくりの場としてコミュニティカフェ、女性を中心として新規起業者を育てるためのシェアオフィス。

問 マルシェ（市場）ということだが、住民の意見をどう把握しているかと考えているか。
答 構想策定と基本計画策定の段階、事業化の段階でも町民の皆さんに積極

的に参加をしていただき、よりよい内容を一緒に考えさせていただければと思っています。
問 毎年、要する費用、人件費、光熱水費はどれくらいと想定しているのか。
答 取得後、固定資産税等の減収になる。コミュニティ・マルシェは基本的に自立化を目指していると考えている。

問 ある程度軌道に乗るまで、町は主導的なスタンスが必要ではないか。
答 5年もしくは3年ぐらいで自立化を目指すので、当面は町の職員が、関わっていく。

従来のコミュニティセンターとは異なる機能をつくらせていきたい。

購入予定の旧西友リビング館



議員の期末手当の支給割合が上がります

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

年間期末手当の支給割合が100分の410から420に。100分の10引き上がる。

<反対討論>

議員報酬に関しては、議員報酬に就いては、人事院勧告に従う必要はない。議会のさまざまな活性化の取り組みの中で、報酬のみならず定数や議会のあり方も含めて、住民と一緒に考え検討して

いく必要がある。
一昨年に続けての期末手当の引き上げとなり、町民から納得してもらえない。
（野田）
町の財政事情は厳しい。そして、現状の議員の報酬及び費用弁償等については、全国の町村の平均である。
（根岸）

国に意見書を提出しました

子ども医療費無料化をすすめ、国民健康保険国庫負担金等の減額のペナルティをやめることを求める意見書

少子化の進行は一層の人口減少をもたらし、社会経済や社会保障に影響を及ぼすとともに、未来を担う子どもたちの健全な成長にも大きな影響を及ぼすことが懸念されます。そのため本町ではきびしい財政状況ながら、子ども医療費を中学3年生まで無料にし、子育てしやすい環境づくりに努力しております。

子育て家庭の経済的負担を軽減することは、少子化対策の重要施策と捉え、全ての都道府県で子ども医療費への補助を実施しております。

国においても、2014年度補正予算での「地方創生先行型」交付金の「基礎交付分」（1400億円）を子ども医療費助成の拡充に充てた場合、ペナルティを課さないことを明記し、通知しています。

しかし、国は今までに子ども医療費を無料化したところには国民健康保険国庫負担金等を減額するペナルティを続けています。

今や日本の人口問題は喫緊の課題であり、子育てしやすい環境づくりのため、国庫負担金等を減額するペナルティを課すことは、直ちにやめるべきです。

以上のことから、子ども医療費の無料化をすすめ、国民健康保険国庫負担金等を減額するペナルティの廃止を強く要望します。

平成28年3月14日

埼玉県比企郡鳩山町議会
（一部省略）

「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長


平成28年第1回定例会 議案 ※読みやすくするため、議案件名をわかりやすくしました。		議員氏名											審議 結果		
		大賀 広史	石井 徹	田中 種夫	松浪 健一郎	中山 明美	小鷹 房義	森 利夫	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	根岸 富一郎		野田 小百合	日坂 和久
町 長 提 出	住民税の申告等の後に提出する書類などへの個人番号は、記載しないこととする条例改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	町の行政へ不服申し立てについて審査する第三者機関を設置し、その運営等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	行政不服審査請求をする場合、利害関係者の審査関係人等が関係書類の写しを求めた時、その交付にかかる手数料を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	情報公開条例で、審理員制度を適用しないことなどを改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	個人情報保護条例で、審理員制度を適用しないことなどを改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	行政不服審査法の改正により、情報公開及び個人情報保護審査会条例の文言等を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	行政不服審査法の改正により、固定資産評価審査委員会条例の文言等を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町長、副町長、教育長の平成27年度分の期末手当から、年間100分の10引き上げる条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	人事院勧告を踏まえ、平成27年度分から、役場職員の給料表を平均0.4%引き上げ、勤勉手当を年間100分の10引き上げること、などを改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	小中一貫校も義務教育学校の1種となり、育児または介護を行う職員の早出遅出勤務の条文中、義務教育学校の前期課程などを加える改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	改正された公務災害補償の制度に不均衡があったため是正する改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	役場職員の退職、休業、人事評価の状況を住民に公表する改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	介護保険法で、軽度者が保険から外される変更により、総合福祉センターのデイサービスを地域密着型通所介護に移行する改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	認知症介護サービス事業者に地域住民との協力、交流や自発的活動との連携を強める条文等の改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	認知症介護予防サービス事業者に地域住民との協力、交流や自発的活動との連携を強める条文等の改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	地域包括支援センターの事業に関する条文の改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	介護予防支援等の事業に関する条文の改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	行政不服審査法の改正により、集落排水事業に関する条例の文言等を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	行政不服審査法の改正により、土地改良事業に関する条例の文言等を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	総合事務組合に加入する組合名の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成27年度一般会計補正予算（地方消費税交付金追加2000万円、情報セキュリティ強化事業1230万円増額など、4624万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成27年度国保会計補正予算（県で実施の保険財政共同安定化事業の医療費が決定など、2677万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成27年度今宿東土地区画整理事業会計補正予算（建物移転補償等の繰り延べで、2003万円の減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成27年度農業集落排水事業会計補正予算（加入者の減少127万円減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成27年度介護保険会計補正予算（介護費用が予定より7604万円減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成27年度後期高齢者医療保険会計補正予算（1056万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
平成27年度浄化槽設置事業会計補正予算（設置数の減で1085万円減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
平成27年度水道事業会計補正予算（営業支出120万円追加、建設改良費740万円減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
平成28年度一般会計予算（北部地域活性化事業、福祉・健康複合施設整備事業、学校給食センター整備事業などで、60億5400万円）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	

平成28年第1回定例会 議案 ※読みやすくするため、議案件名をわかりやすくしました。		議員氏名												審議 結果	
		大賀 広史	石井 徹	田中 種夫	松浪 健一郎	中山 明美	小鷹 房義	森 利夫	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	根岸 富一郎	野田 小百合		日坂 和久
町 長 提 出	平成28年度国保会計予算（前年度比5683万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成28年度今宿東土地区画整理事業予算（前年度比5715万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成28年度農業集落排水事業予算（前年度比24万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成28年度介護保険会計予算（前年度比1665万円減額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成28年度後期高齢者医療会計予算（前年度比2124万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成28年度浄化槽設置事業会計予算（前年度比264万円増額）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成28年度水道事業会計予算（年度末資金残高6億4264万円の予定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	高野倉地内の町道1本廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	高野倉地内の町道1本認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	農業委員会委員の認定者規定の緩和の同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	固定資産評価委員（谷田部 守 氏）の同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	教育委員（小峰 洋 氏）の同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	平成27年度一般会計補正予算8200万円追加（地方創生加速化交付金に関する事業、空き家対策など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
新農業委員10人の一括同意	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	●	○	議	同意	
議員 提出	議員の期末手当を平成27年度分から年間100分の10引き上げる条例	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	議	原案可決
	子ども医療費無料化をすすめ、国保の国庫負担金等の減額のペナルティーをやめることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

お詫びと訂正
131号の議案において、国民健康保険課税限度額について、介護分を1万円としましたが、2万円の誤りでした。お詫びし訂正いたします。

**教育委員会委員に
小峰 洋氏**


教育委員会委員に欠員が生じていることに伴い、小峰洋氏（熊井在住）の任命について同意しました。



小峰 洋氏

**固定資産評価審査
委員会委員に
谷田部 守氏**

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、谷田部守氏（松ヶ丘在住）の選任に同意しました。



谷田部 守氏

農業委員会委員として10人を任命

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、新たな農業委員を任命することについて同意しました。

新たに農業委員会委員に任命された皆さん。
後列左から高橋光久氏（大豆戸）、松本建男氏（小用）、高木豊氏（熊井）、小川和夫氏（泉井）、石井利春氏（赤沼）。
前列左から中原哲彦氏（松ヶ丘）、石井憲司氏（赤沼）、小久保定夫氏（熊井）、岩田忠昌氏（竹本）。
写真右上が柳澤昇氏（石坂）。



町政を問う!

一般質問 12議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

松浪健一郎 議員

1. 新給食センター建設について
2. 町の財政について
3. 町の活性化について

根岸富一郎 議員

1. (仮称) 交通安全に関する条例の制定について
2. 町の公共施設等の老朽化対策について
3. 大字・自治会の活動支援について

小川唯一 議員

1. 第3次食育推進基本計画について
2. もうかる農業について
3. 職員提案制度について
4. 鳩山町表彰規則について

大賀広史 議員

1. 教育行政について
2. 児童福祉について
3. 宇宙の魅力を発信するまちづくりについて

森 利夫 議員

1. 小・中学校の教育と運営について
2. 給食センターについて
3. 福祉・健康複合施設について

石井 徹 議員

1. 防災行政無線について
2. 小惑星“Hatoyamamachi (鳩山町)” 誕生記念シンポジウムを終えて
3. 2期8年間の総括と次期町長選挙の立候補の意思について

野田小百合 議員

1. 子どもの貧困対策について
2. 自殺対策について
3. 婚活について

田中種夫 議員

1. 高齢者の安全対策について
2. 観光関連の担当窓口の設置・活用について

中山明美 議員

1. 障がい児の家族に対するレスパイトケアについて
2. 睡眠教育について
3. 災害対策について

小鷹房義 議員

1. 昨年12月に掲載された朝日新聞の人口減少に関する調査記事について
2. 農村公園の活性化策について
3. 小・中学校のインフルエンザ対策について
4. 亀井小学校の積雪時の登下校について

石井計次 議員

1. 公園整備について
2. 空き家対策について
3. 18歳からの選挙権について
4. 健康長寿のまちづくりについて

小峰文夫 議員

1. 農地改良について
2. 森林整備について
3. 農村公園について
4. 北部開発・町営バス路線・県道整備について
5. 鳩山ニュータウンの造成にについて
6. 健康長寿の町づくりについて



松浪 健一郎 議員



財政問題

基金が減り続けている要因は

様々な事業の財源として基金を充当

問 減り続けている財政調整基金、地域福祉基金だが、主な要因は。

答 町税、地方交付税等の歳入の減少、様々な事業の財源として基金を充当したため。

問 地方債現在高が増加しているようだが。

答 26年度決算額で、未償還元金52億3785万円。交付税に算入されない純粋な残額は13億4516万円。

問 建設総額6億7000万円の新給食センター建設について、町の財政状況を勘案して本当に必要かどうか伺う。

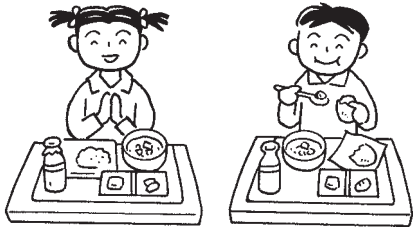
答 多額の財源を必要とするが、安全安心でおいしい給食の提供を目指し、食育の推進拠点として新たに建設したい。ただ、補助金が採択されるかどうかは、不透明な状況が続いている。

問 今現在、米飯は民間委託をしているわけだが、学校給食の新たなあり方調査検討委員会では、おかずについて、民間委託を検討したか。

答 費用面とか地域とかを総合的に勘案して検討したと聞いている。

問 視察した新潟市では、米飯もおかずも全て民間委託。多摩、町田市では組合方式でやっている。子どもが減り続けている鳩山町の現状、財政が厳しい現状を考えると、建設しないで、民間委託の方がコスト面でプラスになると思う。また、新潟市のようなスクールランチ方式も良いと思うが、そういう所まで検討したか。

答 検討していない。



根岸 富一郎 議員

高齢者・自転車事故

交通安全に関する条例の制定を

交通安全協議会にはかって検討する

問 町内の交通事故では、高齢者と自転車の割合が多くなってきた。この現状をどう考えるか。

答 町内での人身事故は、平成26年までは減少していたが、27年になって前年度より18人増加した。また、高齢者や自転車事故の割合が増えた。今後発生状況などを検証していく。

問 条例をつくらないのか。

答 交通安全協議会へはかって、検討する。

問 ニュータウンの道路、個人所有のよう壁などが老朽化しているが、公共施設等総合管理計画で対処できないか。

答 この計画は、公共施設の更新等のコストの平準化が大きな目標であり、この計画には盛り込めない。

問 大字等の役員手当てについてどのように考えるか。

答 役員は、まとめ役として中心的な存在であり、その職務に応じた手当は必要と考える。

問 大字・自治会と社の関係を規約で明確にした方が良いのではないか。

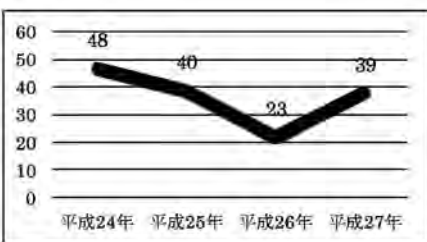
答 明確に区分された方が好ましいと思う。

問 地域の行政に対する協力、協働について、区長だけの判断ですすめていいのか。

答 簡易なものであれば良いと思うが、地域住民への影響が大きいと思われることは、町として協力依頼の仕方を工夫したい。

問 会計処理が専門的になっているので、支援ができないか。

答 大字等からアドバイスを求められたら支援する。



町内事故発生件数の推移

職員提案制度

職員提案制度で斬新なアイデアを

提案しやすい環境を整備する



小川 唯一 議員

問 職員提案制度の目的は何か。

答 職員の資質を向上させ、活力ある職場を作り町民と協働して町づくりにすすめる。

問 提案の範囲は。

答 行政事務の改善、行政施策の企画・立案、収入の増加、経費の節減、その他町政に係るもの。

問 我々はその提案を見る事が出来るか。

答 採択となった提案について、公表する機会を検討したい。

問 いつ頃から始め、結果はどうであったか。

答 平成4年度に導入。現在まで10件程度の提案があった。

問 どのような提案がなされたか。

答 電算化や文書の電子化等行政事務の改善に関するものが多かった。

問 提案数が少ないのは、職員の改善に対する意欲が低いということにならないか。

答 日々の中での改善は行われている。提案しやすい環境づくりに心がける。

問 今後の進め方は。

答 数年、職員からの提案は途絶えているので、その対策に取り組み、一人でも多くの職員が提案出来る制度、体制の整備を図る。

問 提案から表彰までの流れは。

答 受付けは随時。副町長、担当課長で提案の採否を考える。独創性があり、相当な努力が認められるものには、報奨を行うことが出来る。

問 職員の表彰制度は活かされているか。

答 この規則の目的は勤労意欲の増進、資質の向上を図り、業務の円滑な推進に寄与する事。今後は表彰に値する職員提案が出るよう呼びかける。

問 鳩山町表彰審査会とは。

答 年1回開催。副町長、教育長、総務課長、政策財政課長をもって組織されている。

問 行政サイドの審査となり、偏らないか。

答 審査会は提出された内申書に基づき行われる。

鳩山町の星が誕生

鳩山町が発信する宇宙の魅力とは

宇宙のまち鳩山を積極的にPRする



大賀 広史 議員

問 小惑星ハトヤママが誕生したが、今後宇宙の魅力をどのように発信して、町として取り組む考えか。

答 過日開催した誕生記念シンポジウムは盛況で、好評だった。町には宇宙に関係する施設がある。産学官の連携強化を図り、宇宙学校や衛星打ち上げプロジェクトなど、積極的な取り組みを進めたい。

問 宇宙の町として、イベント開催等、もっとアピールしてはどうか。

答 小惑星ハトヤママが悲しむことのないように取り組んでいく。

問 障がい児などを持つ家族に対するレスパイトの取り組みを伺う。

答 レスパイトとは癒しとか休息という意味で、一時的にケアを代替し、リフレッシュしてもらったり家族支援サービスを行う。

問 教育活動の一環としての中学校の部活動のあり方と現状を伺う。

答 教育課程外の活動ではあるが、教師の熱意

によって支えられている。加入率は85%、運動部が9、文化部は2部だ。

問 顧問の負担軽減や地域の活性化のためにも定年退職した高齢者などの部活応援ボランティアを募ってみてはどうか。

答 保護者や生徒の理解を得ながら、外部コーチ制度という方向で中学校とも十分に相談して考えていきたい。

問 計画しているひとり親家庭の実態調査とは。

答 第2次鳩山町ひとり親家庭等支援計画策定のため、面接や訪問による実態調査を行う予定だ。

元宇宙飛行士の山崎直子氏
「記念シンポジウムにて」

義務教育と運営

地域の実情に応じた義務教育とは

緊急に統廃合を進める状況ではない



森 利夫 議員

問 児童・生徒数の減少が続く現状で、小・中連携あるいは一貫教育について、どのように考えているのか。

答 体育祭や音楽会など、児童・生徒の活発な交流が行われている。また、教職員の間でも合同研修会を行い、共通認識を持つよう取り組み、いじめや不登校が急増する中学1年時の教育上の様々な課題の緩和や、学力向上に向け検討をしている。来年度からは中学校の数学の教諭が小学校も兼務して、さらなる学力の向上を図る予定。

問 小・中一貫教育は実施していないが、連携教育としては充実している。

答 児童数と小学校の統廃合の関連は、一定の学校規模を確保することが重要であるが、地域「コミュニティ」の核としての性格も密接不可分。緊急に統廃合を進める状況ではない。

問 1学年の児童数が、10数人の亀井小学校に編入学ができるよう、通学



(旧) 松栄小グラウンド(町有地)に建設がすすむ特養施設

区の変更等により、児童数を増やす考えはあるか

答 児童数を増やす目的で、学区の変更は難しい。新設道路等により生活圏が分断された地域については検討したい。

問 福祉・健康複合施設建設のため、解体された体育館等の、どの部分にアスベストを含む建材があったのか。

答 体育館外側の軒の部分や、トイレ等の天井に使用されていた。

問 アスベストを含む建材の最終処分方法は、二光産業処理で埋め立て処分した。

7月は町長選挙

町長2期8年の総括と出馬意思は

自ら掲げた施策、自らの手で成就へ



石井 徹 議員

問 2期8年の総括と出馬の意思は。

答 2期8年の掲げたマニフェストはほぼ達成できたと思う。町民の皆様のご理解をいただければ、財政上やごみ焼却場の新施設建設他の課題に向け鋭意努力していきたい。

防災行政無線について

問 全国でも先駆けてのデジタル化のメリットは。

答 天変地異の災害情報や、先日の北朝鮮のミサイル発射も国のJアラートを通し、瞬時に情報が得られた。また災害時の発信をはじめ様々な改善が計られている。

問 防災行政無線が聞こえない、また聞き逃した際はどうしたら良いか。

答 鳩山町メール配信サービス※1、フオロー電話サービス※2の利用で情報を得ることができる。

小惑星ハトヤママチシンポジウムを終えて

問 参加者やメディアからどんな反響があったか。

答 参加者からは高評



価が多数、今後の町おこしへの期待の声もあった。メディアではNHK他TV関係2社、新聞4社の取材で想定外の反響だった。

問 町のふるさと納税の返礼品についてNHKの放送後の反応は。

答 2月2日の放送後から1週間で29件、168万円の寄付の申し込みをいただいた。

問 今後ふるさと納税をどのように考えているか。

答 宇宙関連グッズの返礼品が好評だが、町の特産品活用も考えていく。将来的には、東京電機大等との協働で、超小型衛星の打ち上げも考えている。

野田 小百合 議員



子どもの貧困

子ども食堂など町民と考えよう

協力者がいるのであれば支援できる

問 子どもの貧困対策に、どう取り組むのか。

答 平成28年度中に、『鳩山町ひとり親家庭等支援計画』の第2次計画を策定したい。ひとり親家庭等の生活実態調査を実施し、貧困対策の必要性など状況を把握したい。

問 ※1 子ども食堂、学習支援など住民と町と一緒に考えられないか。

答 協力したい方がいるのであれば、町としても支援できればと思う。

鳩山町の生活保護者など生活困窮者は、比較的少ない。支援を必要としている人が、どの程度いるのか分からない。町の実情や他市町村の事例なども研究し、検討したい。

問 自殺対策の今後の取り組みはどのようか。

答 悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して孤立や孤独を防ぎ、支援することが重要。1人でも多くの方に、※2 ゲートキーパーとしての意識を持っていただき、それぞれの立場で、できることから行動を起こしてい

くことが自殺対策につながる。講座や講演会等も継続的に行っていきたい。平成28年度秋頃を目途に、心に悩みを抱えた方とその家族を対象に、気軽に参加できるサロンを、定期的に実施する方向で考えている。

問 婚活支援として、積極的に出会いの場づくりを考えてみないか。

答 比企地域の市町村が連携して取り組む予定だ。

※1 子ども食堂とは、経済的な苦しさを抱える家庭の子どもたちなどに、格安で食事を提供します。

※2 ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、話を聞いて、必要な支援につなげる見守る人のこと。



「せたがや子ども食堂・みつと」のある日の食事

田中 種夫 議員



後期高齢者

免許証の自主返納推奨を！

デマンドタクシー利用の拡大に

問 鳩山町内での交通事故関連について伺う。平成24年・25年・26年の3ヶ年にわたり町内の交通事故は減少傾向にあったが、27年になり特に高齢者に関する事故が多くなっており、急激に増加している。更に町内への企業進出などにより交通量も増加傾向にある。

そのような中で当町は、本年2月末現在「交通事故死亡者ゼロ」の日数も2580日を越えて埼玉県内トップを維持している。

継続するためにも高齢者の方には、免許証の自主返納を考えて頂き、被害者にも加害者にもならないように、今後はデマンドタクシーの利用の拡大を町が推奨してはいか

答 現状としては具体的には未定だが、今後デマンドタクシーなどの面から検討していきたいと考えている。

問 「運転経歴証明書」の発行については手数料

が千円程度かかるが交通安全の関連で町から補助はできないか。

答 手数料補助は考えていない。

問 観光関連の担当者として「再任用職員」を専門担当として採用してはいかがか。

答 再任用職員は、正職員と同等業務についており、観光担当にすることは人員的にも難しい状況。

問 観光関連として「はーとん」の活躍動向は。また、はーとんグッズの販売動向はいかがか。

答 昨年度の活動は各地の41イベントに参加して好評だった。なお新商品として丸い「手鏡」を販売開始した。

今後は開発・販売について商工会とも連絡を取り合っていきたい。



好評なデマンドタクシー

中山 明美 議員



障がい児福祉

レスパイトケアの町の考え方は

精神的・身体的負担の軽減を図りたい

問 超重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア。町の考え方はいかがか。

答 リフレッシュができること、病気や事故、災害、冠婚葬祭などの緊急・社会的な事由で、必要な場合に利用できるような環境整備が必要であると考えている。心身障がい児等を介助する家族の精神的・身体的負担の軽減を図りたい。

問 町事業の対象となる基準について伺う。

答 ショートステイと日中一時支援、デイサービスを行うもので、町内の在宅超重症心身障がい児を受け入れた事業所に補助金を交付する。

問 事業所はどこか。

答 毛呂山町にある社会福祉法人毛呂病院内の光の家療育センターが両方対応している。

問 家族の方が連れて行くのは、大変なご苦労があるのではないか。

答 障害児(者)生活サポート事業をご利用いただければと考えている。



レスパイトケアをおこなっている「光の家療育センター」

サービス提供エリア内であれば、町外でも移送サービスが受けられる。

問 今後、超重症心身障がい児に対する訪問支援サービスはできないか。

答 障害者総合支援法によりまず居宅介護サービスや障害児(者)生活サポート事業などのサービスの介助、排せつの介助、入浴の介助などのサービスを受けることができる。

問 医療行為はできないということか。

答 居宅介護サービスの中で、ヘルパーが医療行為のできる資格があれば可能である。しかし、できる事業所が余りないので、町として事業所と仲介・調整させていただきたい。

人口減少

5市2町での住民転居志向率は

鳩山町では13.1パーセント

小鷹 房義 議員



問 昨年12月、朝日新聞社が人口減少に関する住民意識調査を実施したが、どのようなことか。

答 埼玉県と埼玉大学調査研究センターが報道発表し、人口減少に対応した地域づくりに基づき編集されたものと考えられる。人口減少調査は、地域特性を把握した上で、埼玉県が政策形成に必要なデータを得るために実施した。

問 調査対象市町は、川越市、幸手市、秩父市、本庄市、戸田市、小川町、鳩山町、五市二町であるが鉄道の駅も無く、国道も無く、人口減少が著しい本町が、なぜ選定されたか。

答 小川町や鳩山町では、特に出生率が低く、人口減少率・高齢化率が高いが、今回の調査は無作為抽出で、人口や位置などを考慮して選定された。

問 他の市町でも、同様の調査は行われると思われるか。

答 人口減少社会に資

するデータを得るため実施したもので、必要性は乏しい。むしろ、5年後、10年後に今回と同じ市町を対象として調査が行われ、時系列比較を行う方が意味があるのではないかとと思われる。

問 農村公園名は残して別の愛称(ネーミング)を付けられないか。

答 イメージの湧くような、耳にした方の印象に残るような名称が必要と考えるが、今のところ検討はしていない。施設関係のリニューアルができたなら、その時点で考え方も良いと思う。



剪定された農村公園のケヤキ

石井 計次 議員



公園整備

ジャブジャブ池は発展的解消を

より良い形を考えていく

問 農村公園内のジャブジャブ池の年間の維持費を伺う。

答 毎年、池の清掃を3回実施している。

67万円程度のコストがかかっている。ジャブジャブ池は19年を経過し劣化が激しくなっている。

問 全体に傷みがある池に、夏場、子供たちが裸足で入る。安全な状態にするには相応な費用がかかる。利活用されていない期間のほうが多く、芝生に植え替えて公園スペースを確保するのが良いのではないか。この状況から初期の目的は達成したのではないか。発展的解消を選択肢と考えるのがいかがか。

答 初期の目的は達成したとの意見もある。課としての一般的な形がよいか検討させていただく。**親水公園について**

問 国土交通省では近年、河川空間のオープン化、地域活性化のため河川敷地の規制緩和に取り組んでいる。この親水公園の計画段

階のコンセプトは水辺に親しむ公園の実現である。水辺に親しむ進入路を確保できないか伺う。

答 町は河川法の占用許可を受けて、国の社会資本整備総合交付金を活用し、整備した。当時のコンセプトは、家族が触れ合う公園・川辺の親水空間も想定していた。

しかし公園の水面からの高さ、占用許可の問題等取りやめた経緯がある。

問 南端から直線で20〜30メートル、本格的な整備でなくとも、水辺に親しめる小規模な整備はいかがか。

答 簡易的な道路であれば安価で可能と思う。工事費、占用について考えてみる。



劣化が著しいジャブジャブ池

農村公園

農村公園のジャブジャブ池の今後は

総合的に計画を立てて検討

小峰 文夫 議員



問 ジャブジャブ池の周りの石が、剥がれて危険な状態にあるが、どのように考えているか。

答 ジャブジャブ池の周りの石の剥がれを、コンクリートで補修をしたことがあるが、経年劣化のため、周辺石の剥がれなどが目立ってきた。どう維持していくか、総合的に検討していく。

北部開発・町営バス路線・県道整備について

問 北部開発と同時に行われる、町営バス路線の考えは。

答 北部地域における公共交通の空白地帯の解消を図り、公共交通の利便性を確保するもの。

暮らしやすく、住み続けられる環境整備、北部地域への来訪者の増加を目指した町外からのアクセス性の向上、町への定住者の誘導可能性を高める目的として、北部地域活性化取組方針によるモデル事業である。

泉井、竹本、須江、大橋、奥田を経由して、高坂駅を結ぶ町営路線バス

の計画である。**北部開発に伴う県道整備について**

問 入西沼線の大橋までの延長と、県道の奥田から石坂一（大平）までの延長は、どちらが安くなるか。

答 経済比較は大変難しい。入西沼線の大橋までの延長は、用地買収、移転補償、道路工事、橋梁工事などで18億円。

石坂から奥田への路線は、建物移転がなく橋梁も不要。山間部のため擁壁工事が必要で、約11億円程度。

石坂から奥田の路線が約7億円、約40パーセント安くできるのではないかと想定する。



石が剥がれて危険なジャブジャブ池

常任委員会レポート

総務産業委員会

行政不服審査法改正により 審査員制度の導入と第三者機関の新設

本委員会は、1月26日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

(1)土砂のたい積の規制に関する条例について

町では、平成5年に環境保全条例が制定されました。土砂のたい積について、たび重なる規制違反などがあり、県条例と同様の「土砂のたい積の規制に関する条例」を制定し、平成16年4月1日から施行しました。

規制対象は、300平方メートル以上です。一時的なたい積も対象。土砂の高さは、最低部より2メートル以内の基準、のり面の勾配に対する基



町内の埋立て現場

準など、厳しくなっています。農地の埋立ては、許可届けを提出するよう指示されます。また、地権者の同意、隣接地権者への事業説明や同意書の作成なども指導を行います。

(2)行政不服審査法の改正について

行政不服審査法は、昭和37年に制定以来の抜本的な大改正です。特徴は、不服申し立て

の種類を原則として審査請求に一元化する不服申し立て構造の見直し、処分に関与していない等の条件を満たす審理員が審理を行う審理員制度の導入、審査庁の判断の妥当性を第三者機関がチェックする第三者機関の新設があります。審査請求の期間は、現行の60日から3か月に延長になりました。

(3)農村公園のジャブジャブ池について

農村公園ジャブジャブ池の現地視察を行い、概要説明を受けてました。各委員からの意見、質疑を経て本件の調査を終りました。

福祉文教委員会

補助金を活用し、病後児保育事業のサービスを拡大

本委員会は、所管事務の調査を1月22日に終了しました。

調査事項

(1)障害者差別解消法と町の対応要領等について

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、いわゆる障害者差別

解消法は、国や市町村などの行政機関や民間事業者を含む全ての国民が、障害を理由とする差別をなくし、障害のあるなしにかかわらず、お互いの人格と個性を尊重しながら共生できる社会をつくるための法律です。平成25年6月に公布されて、平成28年4月から施行されます。

委員からの質疑、意見では、「対象者、対象となる障害がある人の中で、障害手帳を持っていない人も含まれる」とは「罰

則は「教育委員会では「障害者の雇用等」は「合理的配慮」とは「各課としての対応は」などがありません。

(2)病児・病後児保育事業について

現在町では病後児保育事業として、病気や怪我の回復期にあり、集団保育が困難な子供を一時的に預かる事業を、ひばりゆりかご保育園に町から補助金を交付して事業を実施しています。

この病後児保育事業を、国や県の補助金を活用して、病児のときも預かることができるよ

うにサービスを拡大します。このため、病児・病後児保育事業として、平成28年度から実施できるように検討しています。委員からの意見・質疑は「今かかっている医院と緊急時の医院の関係は」「利用定員の状況は」「ひばりゆりかご保育園以外でも利用できるか」「制度の周知は」「やむを得ない場合拒むとは」「非課税世帯の収入状況は」などがありました。



病児保育を開始する

「ひばりゆりかご保育園」

平成28年度予算

一部事務組合負担金 当初予算推移 (単位：万円)

	H26	H27	H28
坂戸地区衛生組合	2621	2596	2544
埼玉西部環境保全組合	1億9656	2億0103	1億9988
西入間広域消防組合	2億8406	3億0064	2億9420
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	1億4542	1億4533	1億4398
広域静苑組合	546	441	364
合計	6億5773	6億7737	6億6714
鳩山町一般会計当初予算額	49億4200	44億	60億5400
鳩山町一般会計当初予算額に占める割合	13.30%	15.30%	11.00%

2月にそれぞれの組合議会が開催され、平成28年度予算等が可決しました。

議会で決まったことや組合の動き

<坂戸地区衛生組合>

下水道放流に向けて鶴ヶ島下水道組合と工事及び費用負担に関する協定を締結し、工事に対する地元説明会開催され、汚水管渠築造工事、硫化水素対策工事が完了しました。

現在は衛生組合内部の工事、配管、流量計の設置工事等を行い、3月中には完成見込みです。集められたし尿を希釈、高度処理し、下水道本管につなぎ、下水道組合で処理し、河川に放流となります。

5月の連休明けをめどに、下水道本管への処理水放流を実施する予定です。(松浪)

<埼玉西部環境保全組合>

『廃棄物処理施設長期ビジョン』が示されました。組合が整備する施設には、目標となる稼働期限を設定し、原則30年とすること。稼働期限満了を迎える施設は、原則として別な場所で期限満了前までに施設建替えにより整備する方針となっています。(野田)

<西入間広域消防組合>

今年度より消防団に新たに指導部長という役職が設置されます。女性消防団員などへの指導や方針を決めていく役職で、鳩山町には1人配置される予定です。(大賀)

<毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合>

毛呂山処理センター管理棟再構築工事委託に関する協定の一部の変更、行政不服審査請求制度が変わったため整備する条例案が可決しました。(森)

<広域静苑組合>

補正予算に1639万円増額されましたが、これは主に坂戸市が加入するための施設整備負担金です。

また、広域静苑組合職員定数条例を改正し、現在の事務職員を1人増やして5人にします。(小峰)

いっすい

溢水やマンホール蓋の浮上現象など研修

<毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合>

昨年12月22日に毛呂山処理センター施設の現況を視察した後、川島町にある「株式会社G&U技術研究センター」も視察しました。G&Uとは、マンホール蓋の上と下という意味で、車などの重力、タイヤによる摩耗の仕方や逆流の流体力学、蓋への圧力などを研究する会社です。

試験機による水理シミュレーション等で、マンホール蓋の輪荷重問題、大雨等による溢水やマンホール蓋の浮上現象を観察し、様々な情報を得るとともに、今後の課題について知ることができました。



取付け構造が安全に働くかどうかを試験する装置から勢いよく出た下水を捉えたもの。

高倉クリーンセンター、川角リサイクルプラザの現状を視察

<埼玉西部環境保全組合>

高倉クリーンセンター

昨年9月より施設延命化工事が進められています。2号炉と共通系設備の改修・更新が終わりました。2号炉の運転が好調だそうです。平成34年度までの安定稼働を目指しています。

川角リサイクルプラザ

15年経過し、老朽化がすすんでいます。3年かけて施設の延命化工事を行い、平成45年度までの稼働を目指します。

昨年12月、不燃物にスプレー缶が混入したことによる爆発事故が起こり、大きな被害がありました。



延命化工事がすすむ高倉クリーンセンター



爆発事故による破損箇所川角リサイクルプラザ

住民と共に歩む議会

～住民自治の根幹としての
議会を作動させる～

江藤 俊昭氏 講演会
(山梨学院大学教授)

比企郡町村議会議長会主催の議員研修会が、2月9日に、フレサよしみ（吉見町民会館）において開催されました。内容をご紹介します。

負の連鎖を断ち切ろう

負の連鎖って？

議員選挙が無投票になった町村議会が20%あります。議会：解決が困難な課題に直面し、責任がますます重くなっています。閉鎖的で、議論もなく、追従機能化している議会では対応できません。

住民：議会運営がみえない・課題に応えられない議会では、設置の意義がわかりません。議員定数やコスト削減が要求されます。

議員は住民から尊敬されない→
議員になってもやりがいがない→
立候補者が少ない→
議員は高齢者・男性ばかり→
新たな課題の解決が困難となり、住民の不信が広がります。



正の連鎖（の可能性）って？

議会：議決責任を自覚し、新たな課題の解決に果敢に挑戦するために、新たな議会を創りだします。そのための条件（議員定数・報酬など）を整備する必要を住民と共に議論します。

住民：議会の見える化の推進、住民との意見交換など住民と歩む議会によって、住民の福祉向上のために活動する議会・議員を知ります。問題はありながらも、議会が住民に寄り添おうとしていることを実感できます。

議員は新たな課題を追求する議決責任を自覚
それを行わせるために時間と労力の負担増→
それに対応する報酬の維持・向上、尊敬とはいえないまでも不信の解消→
やりがいの向上→
そうなれば立候補者の増大→
女性・若者の議員の誕生→
新たな課題の解決、住民の不信の解消につながる可能性がります。



講演する
江藤
俊昭氏

議会は住民自治の根源

- 議会は主権者教育、市民教育の場です。まちづくりに関わることで、政治や行政に参加でき、実感ある市民教育がすすみます。
- 首長だけが住民自治の主役なのでなく、「住民自治の根幹」としての議会を認識し、住民自治を作動させることが大切です。
- 「議会だより」では、明確に議会で何が争点なのかを知らせます。
- 議会基本条例は、およそ1700自治体議会の中で、800ほどの議会が制定しています。
- 議会基本条例は、
 - ①自治体議会の規範とするルール
 - ②議会改革の到達点
 - ③住民参加の実現などが規定されることに意義があります。

新しい議会を作る条件整備を

- 行政改革と議会改革は全く別物です。
- 議会改革は地域民主主義の実現のために行うもの。
- よく定数や報酬の削減という話になりますが、
 - ①今いる議員が働きやすい
 - ②多くの人が立候補しやすい
 - ③新しい議員が働きやすいように条件整備することが大切です。

☆住民自治の問題ですから、住民と一緒に考えなければなりません。

どうする!!! 鳩山町議会

良い時期に、とても有意義な研修でした。昨年町議会議員選挙は候補者が少なく無投票。「次の選挙は無投票にしないために」と話し合いを始めたところでした。まさしく負の連鎖を断ち切り、正の連鎖に転換させたいと思います。希望する議員全員が参加して協議する会議が充足しました。会議の様子をお伝えするとともに、皆様との意見交換の方法も検討してまいります。

議会クイズ

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号」を記入してください。

(あて先)

〒350-0392 鳩山町大豆戸184-16

議会事務局クイズ係

(締切) 5月30日(月)

(正印消印まで有効)

ぜひ奮って応募ください。お待ちしております。

- 正解者の中から抽選で、3人の方に図書カード1000円分を差し上げます。
- クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

131号の当選者5人の方

おめでとうございます！

- 赤 沼石井 楽子様
- 松ヶ丘 天神 征夫様
- 鳩ヶ丘 高澤 健二様
- 松ヶ丘 分藤 美稻様
- 泉井 宇田川美知子様

★前号の答え

- ① 八
- ② 八
- ③ 〇

問題1 SAKURAUオークは何回目でしょうか。

- イ 1回
- ロ 2回
- ハ 5回

問題2 一般会計予算総額はいくらかでしょうか。

- イ 55億円
- ロ 60億円
- ハ 62億円

問題3 農業委員会委員は何人でしょうか。

- イ 5人
- ロ 10人
- ハ 12人

ご意見・ご感想ありがとうございました

● 二ご意見・ご感想

☆ 編集委員会コメント

〈傍聴アンケート〉

● 一般質問に関心があり、何回も傍聴しているが、傍聴者の多数参加への創意工夫が足りない。もっと日頃の活動を積極的にアピールして、町民と共にアイデアを出していくべきでは。(70代)

● 初めましてと議会だよりを読みました。あまり興味のなかった町で行われている事が勉強できました。(50代)

● 防災放送が聞きづらいです。良い方法はないですか。(60代)

● 今回、初めて傍聴いたしました。議会がより活性化することを願います。(70代)

● 毎号の表紙の写真が素晴らしいです。ご苦労様です。(60代)

● 議会だよりの「私たちは賛成・反対しました」の表は各議員の考えがわかるのでよいと思う。(70代・同様1通)

☆ 貴重なご意見、ありがとうございます。議場の生の声を聴きに来る方が増えるよう、取り組んでいきます。

☆ 前号から議案の内容もわかりやすく表示してみました。これからもわかりやすい議会だよりにしていきます！

☆ 前号から議案の内容もわかりやすく表示してみました。これからもわかりやすい議会だよりにしていきます！

表紙の写真

4月2日(土)に石坂地内の安藤さん所有の桜山を中心に第2回SAKURAUオークが開催されました。町内外から約60人の参加者があり、安藤夫妻が長年に渡り育てた約150本の桜におごろぎと笑顔がいっぱいでした。

次回6月定例会は6月7日(火)から開催予定です

- 請願・陳情は5月30日17時までにご提出してください。
- 議会ホームページから音声配信を聞いてみます。

音声配信速報版もぜひご利用ください。翌日(休日を除く)から配信されます。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます



編集後記

「議会だより」では議会広報として皆様にご覧の議会活動を報告しております。ただ一方的に議会の事をお知らせして結果を伝えるだけでは、皆様に読んでいただだけません。

政策決定前の情報や決定に至る経過も報告しながら、皆様も共に考えていただき、議会への傍聴や議会に対する意見をしっかりと取り入れ、はじめて「伝える」から「伝える」に変わっていくのかも知れません。

町議選の無投票の結果について議員全員で話し合い、(仮)無投票にしないための特別協議会を発足致しました。これからも皆様の貴重なご意見をお聞きしつつ、伝わる広報・議会の活性化に努めていきます。(大賀)

第132号編集委員

- 委員長 野田 小百合
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 小峰 文次
- 委員 石井 計夫
- 委員 中山 明美
- 委員 中野 史夫
- 委員 大賀 史夫